

発達障害や知的障害の人の多くは身体の動きに不自由はありません。しかし日常生活には特別な配慮が必要です。この映像教材では 障害のある人の特有な思考法を理解し、具体的な対応の仕方を学ぶことによって、知的障害のある人とより豊かなコミュニケーションを交わすことを目指します。

【主な内容】

序 章：エピソード（ミニドラマ）

第1章：コミュニケーションの障害とは？

- ①コミュニケーションが成り立つ要件
- ②コミュニケーションを阻害する要因

第2章：対話をする際の配慮すべき点・工夫を実際の場面と再現場面で紹介

- 理解できる単語を選ぶ
- 難しい言葉は易しく言い換える
- 連想しやすくする（体験の例示）（記憶の補助）
- 省略した言い方と日時に注意する
- 決定権の誤解を正す
- 直接話法で話す
- 答えの傾向を知る
- 文節数に配慮する
- 時間理解が難しい
- 判断が変わりやすい
- 仮定の話が難しい

第3章：はたらく人々

- ①作業所で
- ②スーパーマーケットで

制作協力：公益社団法人 発達協会・社会福祉法人 さざんかの会

定価 15,450円（税込）

2007年2月製作〈28分〉

【製作・著作】

株式会社アローウィン

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場3-12-5 セブンビル501

tel 03-3361-6789 fax 03-3361-6776

URL <http://arowin.net> e-mail contact@arowin.net



このDVDを権利者に無断で複製、放送、公開上映などに使用することは法律で禁じられています。



なぜ伝わらないのか、 どうしたら伝わるのか

～知的障害を持つ人との豊かなコミュニケーションを求めて～

成人編



企画・監修・原案

湯汲 英史 早稲田大学 教育・総合科学学術院前教授

公益社団法人 発達協会 常務理事 / 言語聴覚士 / 精神保健福祉士

